

(2) 博物館等

ア 施設概要

院内銀山民俗資料並びに岩井堂洞窟考古資料等を収集、保管及び公開し、歴史文化の保護伝承並びに地域の活性化に資することを目的として「院内銀山異人館」を設置しています。

このほか、歴史資料や生活文化に関する資料などを保存・展示している施設として、「高松郷土学習展示資料施設（ジオスタ☆ゆざわ）」「雄勝郡会議事堂記念館」「稲庭城」を設置しています。

施設 No.	施設名称	所在地	地区	所管課
博1	院内銀山異人館	上院内字小沢115	院内	生涯学習課
集15	高松地区センター (郷土学習資料展示施設)【再掲】	高松字上地6-2	高松	協働事業推進課
文4	雄勝郡会議事堂記念館【再掲】	北荒町2-20	湯沢	生涯学習課
観2	稲庭城【再掲】	稲庭町字古館前平50	稲庭	観光・ジオパーク推進課

イ 現状と課題

施設 No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m ²)	運営形態	職員数	支出(千円)	収入(千円)	利用人数
博1	院内銀山異人館	H1	38	30	435	直営管理	非2	6,401	658	2,800
集15	高松地区センター(郷土学習資料展示施設)【再掲】	H13	50	18	3,028		非2	10,977	21	10,600
文4	雄勝郡会議事堂記念館【再掲】	M25	22	127	550		—	4,095	12	2,100
観2	稲庭城【再掲】	H1	47	29	752	指定管理	—	6,401 9,616	— 9,940	8,400

※支出・収入欄の2段書きのうち、上段は市、下段は指定管理者の収支額

博1 院内銀山異人館

鉄骨造2階建て、延床面積435m²。平成元年に新耐震基準で建設し、建築から30年を経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始と月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)を除く毎日、9時から16時30分まで、管理運営は市直営で行い、管理運営費は人件費を含め6,401千円となっています。施設の入館料として658千円の収入があります。

施設は、創作活動室、PRルームで構成し、院内銀山資料・岩井堂洞窟資料を常設展示しているほか、春と秋の年2回特別展示を行い、年間入館者数は約2,800人となっています。

集15 高松地区センター(郷土学習資料展示施設) 【再掲】

※施設概要は1(1)ii集会施設(地区単位に設置する施設)を参照

文4 雄勝郡会議事堂記念館 【再掲】

※施設概要は1(2)文化施設を参照

観2 稲庭城 【再掲】

※施設概要は3(2)レクリエーション施設・観光施設を参照

【現状と課題のまとめ】

院内銀山異人館は、院内銀山と岩井堂洞窟に関する資料を収蔵・展示し、これを後世に継承す

ることは重要な役割となっていますが、これからは、資料の収集・展示を中心にした機能に加え、文化財に触れ、体験し、交流することも重要視されてきており、より多くの市民等に院内銀山等の歴史を学習する場・機会を提供していくことが求められています。学芸員の役割を明確にして、民間活力を活用した施設の管理運営のあり方について検討が必要です。

市の生活文化や歴史資料、埋蔵文化財など重要な資料が、様々な施設に点在・保管されています。次代の市民に貴重な文化財資料を継承するための資料の保存・展示・有効活用の方法についての検討が必要です。

ウ 今後の方針とスケジュール

公共施設等総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。（分析・評価結果は資料編を参照）。

【基本的な考え方】

- 市の歴史遺産、郷土の歴史、民俗等を後世に引き継いでいくために必要であることから、基本的に継続します。
- 市内に点在する生活文化や歴史資料、埋蔵文化財などの収集・展示・活用方法について、施設のあり方を含めて検討します。
また、資料の収集・展示機能に加え、国が示す体験・交流型の機能を高める事業展開を含め、管理運営のあり方について検討します。

【個別施設ごとの対応方針】

博1 院内銀山異人館

- 院内銀山民俗資料並びに岩井堂洞窟考古資料等を収集、保管及び公開し、歴史文化の保護伝承を図るため今後も継続します。
- 平成元年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

集15 高松地区センター（郷土学習資料展示施設） 【再掲】

- 高松地区センター内の郷土学習資料展示機能については、ジオパーク関連資料や酒造関連資料、埋蔵文化財等が展示される市内唯一の機能であることから今後も継続します。
- 平成13年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 郷土学習資料展示施設の収集・展示を中心とした現在の活用方法について、国が示す体験交流型の機能を高める工夫を行い、利用者の増加を図る管理運営方法を検討します。

文4 雄勝郡会議事堂記念館 【再掲】

- 湯沢市における歴史資料の展示や市民の文化活動の場として継続します。
- 明治25年に建設した歴史的建造物として、文化財保護法等の規定に基づき、必要な補修を行い保存・活用を図ります。
- 文化財施設全体の管理運営のあり方について検討する中で、当該施設について、既存の展示機能に加え、体験・交流機能を含め有効に活用する方法を検討します。

観 2 稲庭城 【再掲】

- 稲庭城は中世の歴史を継承する地域のシンボル施設として、また、地域の歴史的資料の展示や観光の拠点として機能していることから継続します。
- 平成元年に新耐震基準で建設した建物であることから、予防保全を含む計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 管理運営は、指定管理者制度を継続します。

【年度別スケジュール】

項目	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度～2030年度 (R7) (R12)
博物館等 【共通事項】	施設のあり方を含む文化財資料等の 収集・保存・活用等の検討					
院内銀山異人館 高松地区センター (郷土学習資料展示 施設) 【再掲】 稲庭城 【再掲】	予防保全計画の策定			計画に基づく対応		
院内銀山異人館	体験・交流型の事業展開、 管理運営手法の検討			検討結果に基づく対応		
高松地区センター (郷土学習資料展示 施設) 【再掲】	郷土学習資料展示部分の 管理運営手法の見直し			見直し結果に基づく対応		
雄勝郡会議事堂記念 館 【再掲】	管理運営のあり方検討			検討結果に基づく対応		
	法令等に基づく必要な補修を行い継続使用					

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費	
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
		建物	長寿 命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
博1	院内銀山異人館	継続	●	108,750	174,000	282,750	163,125	0	163,125	6,401	6,401
概算事業費（合計）				108,750	174,000	① 282,750	163,125	0	② 163,125	③ 6,401	④ 6,401

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
△ 119,625 千円	0 千円

※ 更新費用は、本計画策定年度の令和2年度から起算して40年間に必要となる大規模改修費用及び建替費用の試算額です。

大規模改修費用：25万円/m²、更新（建替）費用：40万円/m²（総務省が提供する単価）

※ 維持管理費は、直近（平成30年度）の施設維持管理に係る年間の支出額です。

※ 端数処理の関係上、合計と一致しない場合があります。